

yasaka



運輸安全マネジメントのスパイラルアップ ～今日的な課題への対応～



ヤサカ観光バス株式会社





会社概要



- ・ **事業内容**：一般貸切旅客自動車運送業
（貸切観光バス）
- ・ **事業区域**：京都府・大阪府・滋賀県・兵庫県
- ・ **車両数** 138両（大型車127両 中型車11両）
- ・ **京都支社** 73両 **大阪支社** 40両
- ・ **滋賀営業所** 15両 **兵庫営業所** 10両
- ・ **従業員数** 254名（うち運転者135名）





- ・ 昭和28年 彌榮自動車(株)観光バス課として事業開始
- ・ 昭和32年 京都ヤサカ観光バス(株)設立
- ・ 昭和35年 大阪ヤサカ観光バス(株)設立
- ・ 平成23年 会社統合→ヤサカ観光バス(株)
- ・ **おかげさまで今年、創立60周年を迎えました。**





平成30年度 運輸安全マネジメント (H29. 9. 21~H30. 9. 20)

★輸送の安全に関する重点目標

- ①重大事故 発生件数 0件
- ②有責接触事故、車内事故発生件数 前年比20%減
(当社が第一当事者となり、第三者に損害を与えた事故)
(平成29年度は12件 → 10件以下を目指します)
- ③「基本をまもってしっかり確認」のスローガンのもと、基本動作を徹底し事故防止に努めます。
- ④お客様へのシートベルト着用・席を立ち上がらないよう案内を行い、車内事故防止に努めます。
- ⑤ミラー接触事故、オーバーハングによる事故を撲滅します。

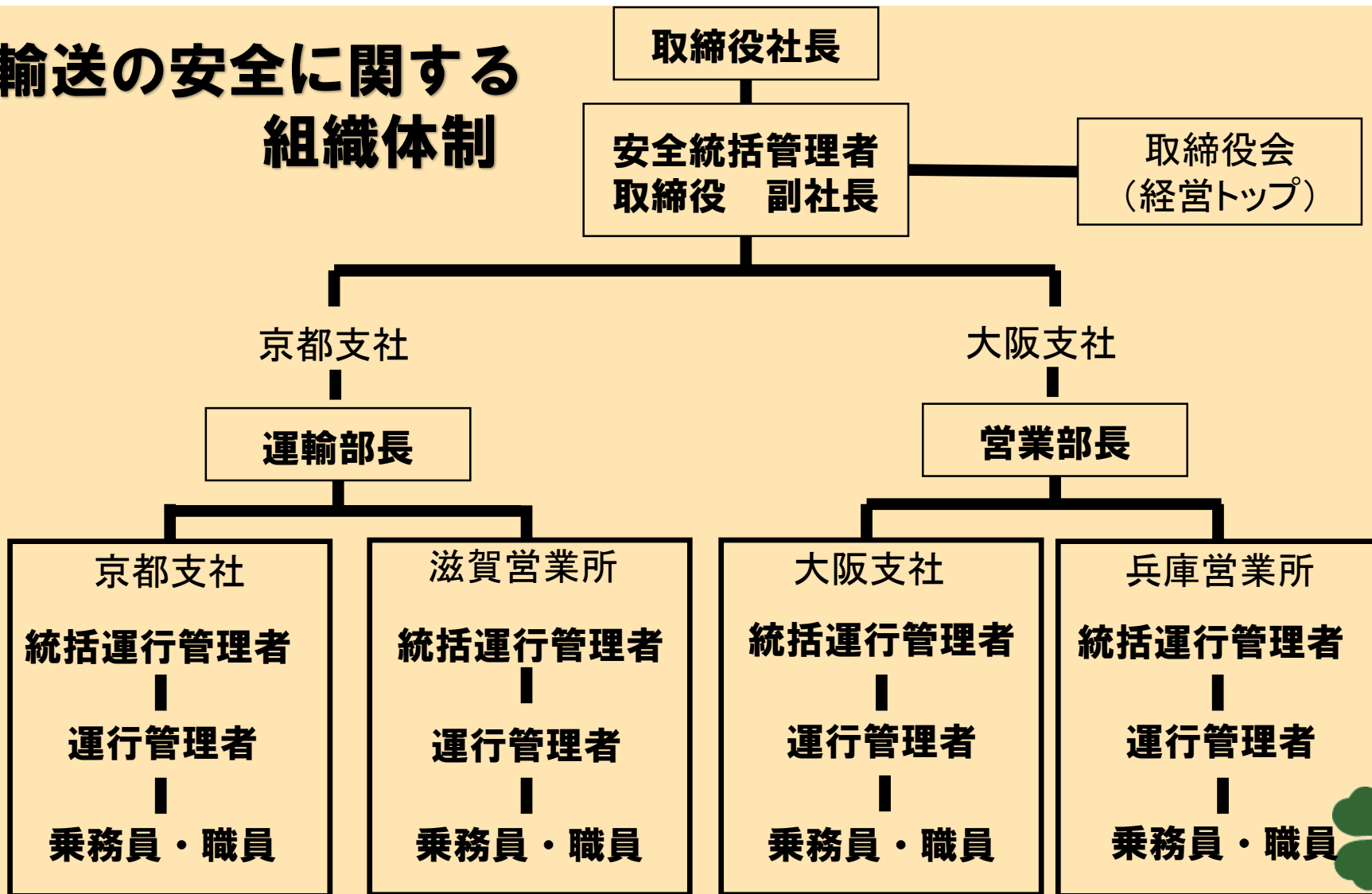
★輸送の安全に関する重点施策

- ①旅客運送事業者として社会的責任を自覚し、安全輸送こそが最良かつ最善のサービスであるということ認識すること。
- ②旅客運送事業に携わる者のあるべき責務として、自動車関係法令の遵守と運転マナーについて、職種・公私問わず全社員が模範となること。
- ③輸送の安全に対策を怠ることなく、不断に見直し、絶えず安全性の向上に努めること。
- ④輸送の安全に関する意見や提案を真摯に受け入れ、それをフィードバックさせること。
- ⑤輸送の安全に関する情報については、積極的に公表すること。





輸送の安全に関する 組織体制



yasaka



当社のスローガン

**「基本を守って、
しっかり確認！」**

基本動作の確実な励行が事故を防ぐ。





貸切バス業界の現状

- ・平成12年 規制緩和により認可制から許可制へ
- ・**貸切バス事業者が倍増→運賃競争の激化**
- ・平成19年 吹田市でのスキーバス事故
- ・平成24年 関越道高速ツアーバス事故
- ・平成26年 貸切バス 新運賃・料金制度導入
- ・平成28年 軽井沢スキーバス事故

法令・規制の強化へ



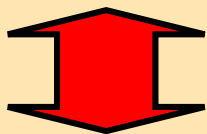


当社の現状

貸切バス新運賃・料金制度導入により安定した経営状態

→ **積極的な設備投資**

- ① 新型車両を積極的に導入（平成29年度 16両導入）
- ② デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー全車両設置
- ③ IP無線 全車両設置
（乗務中の携帯電話対策）



運賃上昇による稼働率の低下

- ・ 受注・売上の低下
- ・ 乗務員の所得にも影響





当社の現状

運転者不足が深刻化

★採用条件の変化

約5年前→大型2種免許保持者に限る

大型運転経験5年以上

年齢 30代半ば～40代前半ぐらい



昨年より→普通免許保持者の大型2種免許

養成制度開始（取得費用会社負担）

大型経験なしでも積極採用

20代前半の若年層の積極採用





観光バスの運転者として求められる人物像

- ・ **安全運転はもちろん、長時間・長距離でも快適にご乗車頂ける運転技術。**
（スムーズなハンドル・クラッチ・ブレーキ動作等）
- ・ **急なコース変更等、お客様の要望に対応ができる柔軟性と観光地・道路・地理のスキル。**
- ・ **お客様へのソフトな接客対応**
（6割以上がワンマン運行）
- ・ **梯団運行時等、同僚との協調性**





バス事故の原因と対策

①健康状態・過労を起因としたもの

- ・ 徹底的な労務管理の実施
 - ・ (拘束時間・運転時間等)
 - ・ 年2回の定期健康診断
 - ・ SAS (睡眠時無呼吸症候群) 検査
- 「要精密検査」判定者は必ず
主治医にて受診し適切な治療を行う。(追跡調査実施)
- ★脳ドック検査の導入を検討中

平成29年9月18日

主治医 様へ

貴院、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は弊社従業員がお世話になっております。さて、上記の者は、貸切バスの運転者としてバスに業務をしておりますが、定期健康診断におきまして下記の異常が認められたため再検査するように指導を致しました。私ども運輸業界における第一の使命は安全輸送であり、弊社もあらゆる体制で安全輸送を追求しております。運転者の健康状態につきましても、最近健康を起因とした事故が発生していることもあり、しっかりと対応する必要があります。つきましては、再検査の結果についてご証明を頂きますようお願い致します。なお、何かご不明な点やご意見等ございましたら、弊社運行管理者までご連絡を頂か、本人にお伝え頂きますようお願い申し上げます。

ヤリカ観光バス株式会社 大阪支社
大阪市西淀川区中島2-4-131
統括運行管理者 山田 圭佑
TEL:06-6475-4601

診断内容	・肝機能障害
------	--------

再検査の結果

① 異常なし・治療の必要なし

② 今後継続治療が必要。就業には問題なし

通院頻度 1回 (例:1ヶ月に1回 週に1回 など)

治療内容

③ 以前より治療継続中、引き続き治療が必要

通院頻度 1回

治療内容

④ その他

⑤ 就業不可・就業に問題あり

恐れ入りますが捺印又はご署名をお願いします。

通院年月日

平成 年 月 日 貴院名

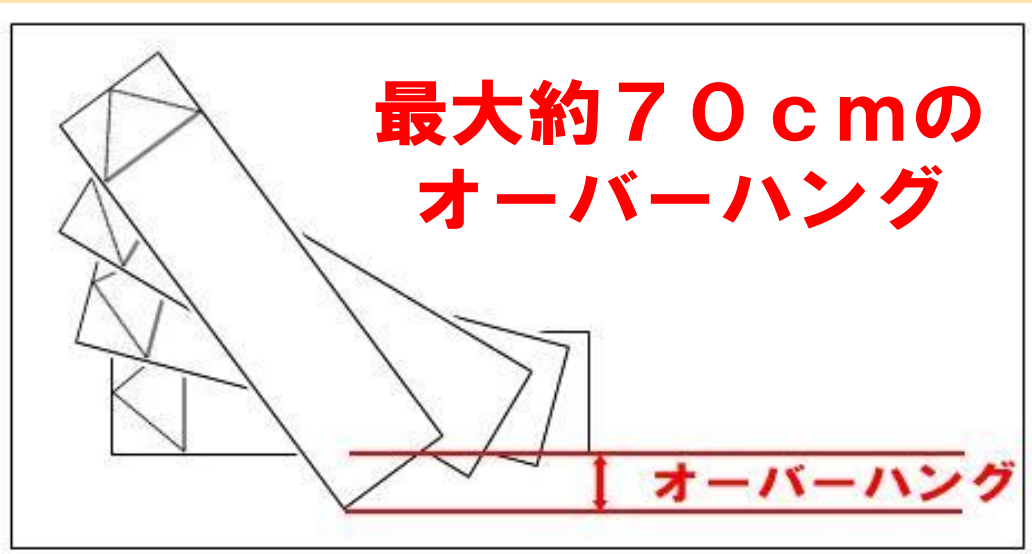
再検査の受診証明



バス事故の原因と対策

②車両特性によるもの

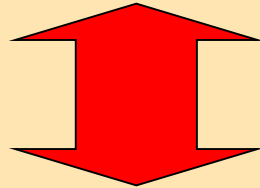
- 大型車両特有の車両特性による事故
- 特に後退時やオーバーハングによる接触事故が多い。





バス事故の原因と対策

③慣れ・過信・漫然運転が原因の事故



④経験不足が原因の事故

- ・ 技量不足
- ・ 地理不案内（運行経路ミス等）





事故防止と対策

- ① ドライブレコーダーを活用し、個々に事故の原因と反省、対策を指導する。
- ② 事故防止研究会の実施
→ 班長・事故惹起者を集めて事故の原因とどうすれば事故は防げたかを検証する。
- ③ 乗務員のモチベーションの向上
無事故表彰、班別無事故報奨金制度
- ④ 乗務員が自主的に「事故研究会」を発足させ、事故の原因や車両特性の研究を行っている。





新人乗務員教育について

- ・ 本人の技量に合わせた教育期間。
- ・ 大型バスの車両特性。
- ・ 地理の教育（広範囲に及ぶ乗務に対応）
- ・ 冬山研修（2泊3日 信州方面）

例えば、平成29年4月3日入社 Wさんの場合
（大型2種免許養成制度で入社）

106日間（821時間57分）15,492 kmの実車・座学
教育を経て、9月9日より乗務デビュー！





乗務員教育について

- ①「安全・接客講習会」の実施
- ②班長会議
- ③ドライブレコーダーを活用した教育
実際の事故やヒヤリハット情報を活用した教育



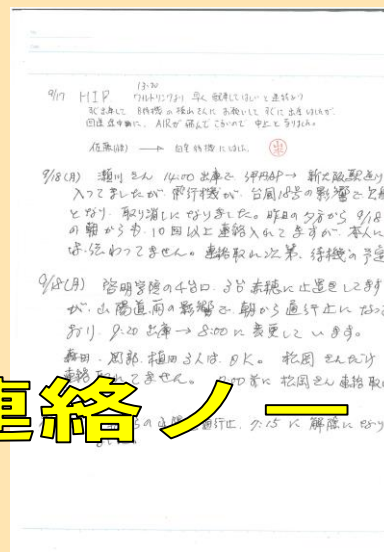


運行管理について

- ①出庫・入庫点呼の厳正な実施
- ②徹底した労務管理、技量に合わせた適切な配車
- ③運行状況、道路・気象状況の把握
- ④連絡ノートを活用（些細なことも記入し、勤務交代後の引き継ぎを確実に行う）



出庫点呼



連絡ノート





運行管理について

- ⑤乗務員とのコミュニケーションを大事にする！
点呼の立ち合いや社内行事、クラブ活動、普段のなにげない会話から

乗務員の想いや不満

安全面やサービス面の改善のヒント

これをいかに吸収し、今後に生かすか？





今後の課題と目標

- ①めまぐるしく変わる関係法令への対応と遵守
- ②良質な運転者の確保と教育
- ③新車を積極的に導入し、お客様にきれいで安全設備の整ったバスをご提供する。
- ④「基本を守ってしっかり確認」のスローガンのもと、絶対事故を起こさない！という気持ちで日々の業務に励む。



yasaka



ご清聴ありがとうございました。

